

◆ あ い さ つ ◆



日本キンボール連盟 会長 松浦 道夫

2000年から始まったキンボールの全国大会であるジャパンオープンは、滋賀県、三重県、東京都、大阪府、宮城県、兵庫県で開催されました。本年度のフレンドリーカップは初めて本州を離れ、沖縄県で開催されます。キンボールの普及活動が始まった当初、室内スポーツゆえに暖かい地域での普及が難しいことが懸念されましたが、嬉しいことに沖縄県では県連盟が中心になり、早い時期から小学校や地域への普及が進みました。2006年に兵庫県神戸市で開催された第7回大会のジュニアの部門では、沖縄県大会で優勝した琉球松川チームが地元チームと決勝戦を争い、見事優勝したことは記憶に新しいことです。今大会にも多くの地元のチームとともに、北海道や関東、関西地区などから多数参加しますが、単に試合を行うだけでなくこのスポーツを通して人的交流がなされることを期待しております。

今夏はスポーツの最高峰の大会であるオリンピックが北京で行われました。勝利を目指して日々鍛錬してきた選手の懸命に戦う姿は感動を与えます。敗れた選手が勝者を称える姿にはスポーツマンらしい清々しさが感じられます。しかしながら、一部の試合では執拗なブーイングや、途中棄権の選手に対するネット上での誹謗中傷、表彰式でメダル投げ捨て退出などマナーの悪さも指摘されました。世界の人々の範となるべき大会でこのようなことが起こるのは誠に嘆かわしいことです。キンボールもスポーツであるがゆえに、勝敗があります。勝ちにこだわる余り、自制心を失う危険もあります。しかしながら、このスポーツは他のスポーツ以上にマナーやスポーツマンシップに重きを置くスポーツで、スポーツマンシップポイントでそれを具現化しています。悔いが残らないよう自分の力を精一杯出してプレーするとともに、他者を尊重し、人間力をも培えることを期待しています。また、何よりもキンボールを楽しんで下さい。ゲームを楽しむこと、これがキンボールの第一義です。

本大会の主管である沖縄県キンボール連盟の皆さまには本大会の開催と運営に当たり多大なご支援、ご尽力を頂き、誠にありがとうございます。また、関係諸団体、関係者の皆さまにも心から敬意を表し、感謝申し上げます。